

(提案書 様式①)

協働の機会提案書

27年 7月 22日

印西市長 板倉 正直 様

(登録者) 登録番号 27— 001
 名称 印西おもちゃの病院
 所在地 印西市大森
 代表者 言後 良一 ⑩
 連絡先

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

課 題	<p>1. 子供の「物を大切にする心」「物づくりへの関心」が希薄である。</p> <p>2. 子供が利用する施設に、おもちゃが十分に行きわたっていない。</p>
提案理由	<p>印西おもちゃ病院は、従来から子供が利用する施設等に定期的に出向いておもちゃの修理を行うことにより、子どもの「物を大切にする心」「物づくりへの関心」を育てる事に貢献しているが、市民の活動認知が十分に得られていないため、持ち込まれるおもちゃが少ない。子どもが利用する施設（児童館・公民館）にツールを常設して、活動の周知と利用の向上を図り持ち込まれるおもちゃを増やすと共に不要になったおもちゃを回収して、波及効果の拡大を目指す。</p>
提案内容	<p>従来の活動に加えて、子どもが利用する施設に不要となったおもちゃを回収する箱を常設することにより、定期開催時に参加する子どもの増大・部品回収による修理対応能力の向上を図るとともに、回収したおもちゃを動作確認・清掃して、子どもが利用する施設に寄贈しておもちゃの増加・更新を図る。</p>
貴団体の特性、協働で実施するメリット <small>(提案者が事業実施できる能力や有利なアピールポイント)</small>	<p>本団体は、おもちゃの修理に4年の実績があり、修理及び子どもとのコミュニケーションに経験を積んでいることから、回収箱設置の告知チラシ製作、おもちゃの回収～動作確認～各施設への分配～子どもへの使用方法説明を担うことができる。</p>
事業実施により得られる効果や今後の展望	<p>壊れたおもちゃの修理に加えて、不要なおもちゃの常設回収を行うことにより、市民の3R（Reuse再使用、Recycle再生利用、Reduce廃棄物の発生抑制）意識向上に貢献できるほか、子どもが利用する施設はおもちゃを寄贈され、おもちゃが充実する（増加・円滑な更新）。また、回収部品の利用により修理能力の向上が期待できる。</p>

協働事業計画書			
事業名	不要なおもちゃの回収及びリサイクル利用		
事業の目的	不要になったおもちゃを回収し、修理、清掃等行いリサイクル品として甦らせ、児童館等で有効利用する。		
事業期間	平成28年 4月 1日 ~ 平成29年 3月31日		
事業の内容 <small>詳細に役割分担別に記入 (役割分担を、できれば事前に市の担当に相談して記すか、希望を記す)</small>	提案者	市	
	回収された不用品のおもちゃを修理、清掃等行いリサイクル品として甦らせ、児童館等へ配布する。 又修理不能になったおもちゃは分解し、おもちゃ修理の部品として再利用する。	各児童館、公民館等におもちゃの回収協力依頼をする、又不用品おもちゃを児童館・公民館等で回収している事を広報やPR紙配布で徹底する。	
事業に要する経費 <small>※詳細については、様式③による</small>	0円	420,000円	
対話方法 <small>市との協議や打ち合わせ方法</small>	数回打ち合わせを行い、以後は電子メール等で連絡する。		
協働のメリット <small>(各立場にとっての効果を簡潔に)</small>	提案者	市民	市
	現在もおもちゃ病院として不用品の回収は実施しているが、数が少ないので増加を期待する。	おもちゃ修理の際、負担が少なく成り、又リサイクルの意識向上が図れる。	市民へのリサイクル意識の徹底啓蒙、児童館等へ無償でおもちゃの寄贈が出来、児童館の活性化が図れる。
広報の方法	各児童館、公民館等でポスターを掲示し、広報等で紹介する。又PR紙を作成し各施設に置く。		
評価の方法	年間で何個のおもちゃを再生出来たかの数による評価		
備考	関係課・関係団体等 (子育て支援課、クリーン推進課)		
	その他		
添付書類			

(提案書 様式③)

企画提案型協働事業経費内訳書

事業に係る見積り積算金額 金 420,000円

無償分を含めた金額 (金 1,608,000円)

【歳入】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求める額	消耗品費、印刷製本費	420,000
その他収入		
提案者負担分		
無償労働力等換算金額	労働力 1,152,000 円、その他の材 36,000 円	(1,188,000)
合 計 (無償分を含めない)		420,000 円
無償分を含めた合計額		(1,608,000)

【歳出】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
消耗品費	回収箱購入費(市販品 20 個 16,000 円/一個)	320,000
印刷製本費	A4 片面カラー 10,000 枚 B3片面カラー 30枚 50,000 円×2	100,000
提案者が負担する 無償労働力	1,000 円×4 時間×4 人×72 日=1,152,000 円	(1,152,000 円)
提案者が負担する 無償機材等		(円)
提案者が負担する その他の材	500 円×72 日=36,000 円 (半田・アルコール等消耗品)	(36,000 円)
計 (無償分を含めない)		420,000 円
無償分を含めた合計額		(1,608,000 円)